



# 九条の樹

東久留米「九条の会」ニュース 第27号

2010年5月発行・東久留米「九条の会」  
代表者 古田足日・連絡先 鈴木Tel 042-473-9489  
<http://members2.jcom.home.ne.jp/hgsk9jk/>

憲法九条・武器はらない、平和を求める心「九条の会」

## 締め出すな、

## 民の声

佐野 正利  
(東久留米「九条の会」副代表)

民主党や自民党また言論界に衆院議員の定数削減の声が高まっています。民主党のマニフェスト(選挙公約)には、「むだ遣いをなくす」ことを理由に比例代表の定数の80名削減を掲げています。鳩山首相はかつて「議員定数を削減しなければ消費税の増税も、国民の理解を得られない」「定数は500から300の単純小選挙区にもっていくべきだ」と言いました。「みずから血を流して、むだを排除」するものだ」「比例80を削減する。その先には選挙区の300議席が見えてくる」菅大臣の発言です。むだを排除と言いますが、議員の数は多すぎるのでしょうか。主な外国と比べて日本の議員定数は少ないのです。日本の一二〇年を振り

返って見るのも参考になります。

1890年(明23)に第1回の総選挙が行われ、定数300名の議員を選出しました。当時の総人口は3800万人で今の3分の1でした。有権者は直接国税15円以上を納税する25歳以上の男子に限る制限選挙でしたから、人口の1・1%の42万人ほど、ほとんどが大地主でした。

### 私の主張

東久留米の有権者は20〜30人でした。(貴族院議員は252名で、天皇の勅任と貴族の互選で構成。今の参議院の定数は242名です。)

1900年(明33)に選挙法改正で、10円以上の納税者、人口の2・2%、98万人が有権者となり、議員定数は369名に増えました。

1920年(大9)に第1回

の国勢調査が行われ植民地を除く全人口は5600万人でした。その年総選挙が行われ、定数を464名に増やしました。この時から3円以上の納税者が有権者になりましたので全人口の5・5%、308万人、成人男子の4人に1人の割合になりました。東京では13万余、東久留米では307人です。

最初から普通選挙を要求する運動はありましたが、ようやく1925年(大14)納税資格を撤廃する男子普通選挙法が国会を通過、1928年(昭3)から実施され、有権者は全国民の20%、1200万人に増えましたが、議員定数は増やさず、選挙運動のあり方などをきびしく規制しました。この年東久留米では村議を12名から18名に増員しています。

長い戦争が終わった1945年(昭20)11月に、翌年総選挙を行うための人口調査を行い全人口7199万8104人と確認。12月に衆議院選挙法改正。永年の要求であった婦人

参政権が認められ、選挙権、被選挙権の年齢が5歳ずつ引き下げられ20歳と25歳となりました。有権者は全人口の50・4%、3600万人と増加しました。議員定数は従前のままでした。

その後の選挙で議員定数は少しずつ増やされ、1980年代には512名にまで増えていました。ところが1994（平成6）年に財界4団体の首脳が小選挙区制法案の今国会成立を主張、小選挙区比例代表制が導入され、議員定数は500（比例200、小選挙区300）に縮減されました。2000年にさらに20名削減され、比例が180名になっています。

次の選挙ではさらに80名削減するというのです。これでは100年も昔に逆もどります。現代は人口1億2500万人で20歳以上の成人男女1億300万人が有権者なのです。明治、大正期よりはるかに豊かに発展し民主化しています。世論調査で見ても日本人の政治的関心は高いのです。だれ

もが国や社会の現状を憂え、社会や政治を語る時代です。国民の中には多様な要望があります。比例定数議員の削減は改憲反対や消費税増税反対の民意を国会から締め出そうとしているのです。

近代百余年は国民の参政権拡大に努力してきた歴史です。それを受け継ぐ私たちは民主主義、国民主権を後退させることを断じて許してはなりません。



## 学習会が 開催されました

「憲法をめぐる国会の動き」  
2月21日・中央図書館視聴覚ホール

「民主党政権が提出しようとしている国会法改定は事実上の解釈改憲をねらったものです」  
2月21日開かれた、東久留米「九条の会」学習会で、小林善亮弁

護士はずばり指摘しました。学習会には約50名が参加しました。

三多摩法律事務所的小林善亮護士の話の内容をご紹介します。



小林善亮弁護士



### 「国会改革」・ 衆院比例定数削減問題

#### 民主党政権の最近の動き

国会への陳情や請願は幹事長室に一元化する。それ以外は認めない。紹介議員にもならない。各種の議員連盟では委員長ポストを民主党が占めること。それが不可能なら民主党だけで新たな議員連盟を作る。「国会改革法」を昨年の臨時国会提出を社民、国民両党の反対で先送りするが、その後、両党から同法提出の同意をとりつける。これら国会にかかわる動きがある。新聞報道では3月にも「国会改革法」提出の意向という。急速に反対の世論を考えると、分かりにくい事もありまだこれからというところ。

#### 「国会法改定」どこが問題か

官僚答弁禁止により、法案審議が深まらない恐れがある。現場のデータを押さえた審議

になりにくい。また1999年に「国会審議活性化法」により原則官僚答弁は禁止されているので、あえて新法は必要ない。

一番のねらいは内閣法制局長官の答弁禁止。内閣法制局は、閣議に付される法律案などの憲法との整合性や憲法解釈の統一を図る役割をもっている。内閣から独立して意見をもち、時には内閣の考えに反する意見を述べることも予想されている。内閣法制局長官の答弁を禁止することで、時の内閣が自由に「憲法解釈」ができるようになる。時々の内閣の恣意的な政策によって憲法の中身が決められてしまい、国民の人権が左右されてしまう。9条解釈改憲が一番のねらい。

小沢幹事長が、かつて細川政権のとき、湾岸戦争に自衛隊派兵しようとしたが、内閣法制局長官によって「違憲」とされ派兵できなかつたことを根にもっている。内閣法制局は現行憲法下での

- ①武力行使の禁止
- ②

武力行使と一体になった活動の禁止 ③集団的自衛権行使の禁止、という解釈を維持してきた。この解釈を廃して「国連決議があれば自衛隊の武力行使も合憲」という民主党の政策を実施したいというのが本音にある。

また「国会法改定」では国会の会期廃止、常任委員会定数・定例日の改定も含まれている。衆議院比例定数削減もねらわれている。

民主党はマニフェストのなかで、衆議院比例代表80削減を言っている。これも民主党の国会改革の柱。昨年の総選挙で民主党は47%の得票で74%の議席を得ている。小選挙区制は圧倒的に第一党に有利。この小選挙区制の比率をさらに高めようという。現在、小選挙区制を採用しているのは一部の国に過ぎない。OECD30ヶ国のうち5ヶ国。民主党が手本とするイギリスは比例代表を加味する程度に変更の方向。

国会議員はムダというが、80

人減らして節約は54億円。政党交付金は320億円のむだ使い。議員の数は、人口10万人あたり日本は0.57人。スエーデンは3.83人。フィンランド3.79人。ノルウェー3.60人。イギリス2.28人。

### 背景に財界の意向

2003年に「21世紀臨調」が提言をおこなった。この団体の顧問は経団連、日商、経済同友会ら財界トップが顔をそろえ、運営委員会はマスコミ関係者で占められ「2大政党制」キャンペーンが行われた。財界は1992年以来「国会改革」「内閣、与党の一元化」「マニフェストと小選挙区制導入」など、一連の「改革」をリードしてきた。目指すのは首相の権限強化、新自由主義的政策の推進にある。

これらの動きに反対して憲法を守っていくための活動と展望が学習会には重要。そして国民

主権の観点が重要で、国会が民意とかけはなれた政治が行われるようになる。国民の権利に不利益になり、要求実現が難しくなるという視点が大事。国会に要求を届ける仕組みと十分な国会審議は不可欠だ。

また、これまでの小選挙区制が施行されて16年になるがその総括が必要。国民生活が良くなったか。実際は海外派兵が強化され、構造改革で福祉、暮らしが壊されてきた。これ以上の財界主導の国家改造を許さない。民意が反映される選挙制度をとという世論を。海外でもそういう動きがある。

民主党にたいする批判も強く、そう簡単に成立はできない面もある。当初、今国会冒頭で法案提出、可決させるはずだったができなかった。反対世論が広がる可能性が十分ある。地域の学習と国会に向けた取り組みを。

## ◆西部九条の会春の遠足

### く多摩の戦跡めぐりく

4月4日(日)16名の参加で、予想外に寒い日の戦跡めぐりでしたが、久しぶりのフィールドワークに参加者からは楽しかったという感想が出ていました。

最初に八王子「相即寺」のランドセル地蔵《下記平和を考える本で紹介》に行き、つぎに立川の山中坂戦災供養地蔵尊に立ち寄りました。4月4日の立川への空襲で避難していた、山中坂の防空壕は、爆弾の直撃を受け、子ども32名を含む42名が犠牲になりました。

のちに土地所有者の伊藤商店と有志によって歌碑が建てられました。まさに爆撃の日に訪れましたが、65年前とはまったく違い、穏やかな桜と菜の花の咲き乱れる美しい景色に包まれていました。

最後は、東大和南公園にある旧日立航空機立川工場変電所に行き、昼食後、東大和9条の会

の人たちと交流し、建物の説明を受けました。

当時の空襲の生々しさが、そのままの姿で保存されていて、いまも平和な公園の中で、花見を楽しむ人々を見守るようにはたずんでいました。(大山)



旧日立航空機立川工場変電所前にて

## 《平和を考える本》



『ランドセルをしようとしたじぞうさん』

じぞうさん

古世古和子・著(新日本出版社)

第二次世界大戦末期、ケンジが学童疎開した八王子でも、食料は不足していた。さつまいも一本でも貴重で、雑炊も奪いあう。親が食べ物を持って訪ねてくれるのが、どれほど待ち遠しかったか。そんな中でも子どもたちは、日々、楽しみを見つけて生きていた。ある日、カエルをつかまえようとして、防空壕に入りそこねたケンジは、P51戦闘機の機銃掃射にあった……。

八王子市泉町、相即寺の境内にある地蔵堂。たくさんの地蔵の中に、その時亡くなったケンジのランドセルをしょって、今もたずんでいる一体がある。

## ◆お知らせ

### 井上ひさしさんの志を受けついで 九条の会講演会

2010年6月19日(土)  
13:30開会(開場12:30)  
日比谷公会堂  
(東京都千代田区日比谷公園内)  
講演:大江健三郎  
奥平康弘  
澤地久枝  
鶴見俊輔  
問い合わせ:  
九条の会事務局 03-3221-5075

### キリスト者九条の会 講演会

7月19日(海の日)  
成美教育文化会館 14:00から  
講師:武祐一郎氏(キリスト教独立学園高等学校理事長)  
資料代300円

### 日本の青空Ⅱ 「いのちの山河」上映会

7月31日(土)  
東久留米市立生涯学習センター  
前売券1,200円

### 東久留米「九条の会」 5周年の集い

9月25日(土)  
14:00開会  
東久留米市立  
生涯学習センター・ホール  
協力券500円  
講演:品川正治さん  
(経済同友会終身幹事)  
市民による平和朗読劇  
(構成:楢岡真弓)